



2013-2014 中部部報 第1号

2013年8月23日発行

国際会長主題 「全ての世界に出て行こう」 “Once More We Stand”
 アジア会長主題 「未来を始めよう、今すぐに」 “Start Future Now”
 西日本区理事主題 「志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう。」
 中部部長主題 「長所を活かして生き生きと！」

2013-2014 年度 中部役員・委員

【部役員】

部 長 平口 哲夫(金沢犀川)
 直前部長 荒川 文門(名古屋南山)
 次期部長 大西 博昭(四日市)
 書 記 北 肇夫(金沢犀川)
 会 計 川村 孝治(金沢犀川)
 代 議 員 荒川 文門(名古屋南山)
 代 議 員 平口 哲夫(金沢犀川)
 監 事 長谷川和宏(名古屋東海)

【クラブ会長】

金 沢 幸正 一誠
 名 古 屋 川口 恵
 名古屋東海 山村 喜久
 名古屋南山 小林 滋記
 四日市 竹中 浩
 名古屋プラザ 島崎 正剛
 名古屋グランパス 坂野 清治
 津 千賀 直道
 金沢犀川 澤瀬 諭

【事業主査】

Yサ・ユース 早川 直希(四日市)
 地域奉仕・環境 鈴木 一弘(名古屋東海)
 E M C 五島 八郎(名古屋)
 ファンド 数沢 輝夫(金沢)
 交 流 森本 征夫(名古屋南山)
 広 報 大島孝三郎(名古屋プラザ)
 メネット 澤瀬 紀子(金沢犀川)

【常置委員会】

ホームページ委員長 荒川 恭次
 (名古屋グランパス)
 ホームページ管理者 平口 哲夫(金沢犀川)

【中部事務局】

事務局長は北書記が兼務、平口部長・川村会計・澤瀬部会準備委員長が事務を分担。

【中部部会準備委員会】

委員長 澤瀬 諭(ホストクラブ 金沢犀川)
 委 員 川村 孝治・北 肇夫・竹中 丈晴・平口 哲夫・三谷 信三 (ホストクラブ 金沢犀川)
 伊藤 仁信・数沢 輝夫・幸正 一誠・澁谷 洋太郎・清水 淳・西 信之・山内ミハル・
 山本 達也 (協力クラブ 金沢)

* 太字の役員・委員が部報を執筆。

1. 2013-2014 中部部報第 1 号の刊行にあたり

中部部長 平口 哲夫 (金沢犀川クラブ)



今年度の部報第 1 号は、第 17 回中部部会の際に参加者の皆様にお配りすることができるように、8 月中旬刊行を目指して原稿を依頼し、編集を進めてまいりました。この作業過程でも感じたことですが、新年度のキックオフが 7 月 1 日だとしても、各クラブの足並みが揃うまでには 1 ヶ月以上かかりそうだとことです。

2010-2011 中部広報主査を担当したことが切っ掛けで中部ホームページの荒川恭次委員長を補佐する HP 管理者を引き受けることになり、主として各クラブ紹介の更新に努めてまいりましたが、キックオフ前後に完全更新することができたのは自分の所属クラブぐらいで、1 ヶ月過ぎても完全更新できないクラブがいくつかあります。今年度は特に、第 16 回西日本区大会が名古屋で開催された直後ということもあって、キックオフの体制を整えるのが例年よりも遅れたクラブが多かったのかもしれませんが。

そういう点では、だいたい各クラブの足並みが揃う 8 月末に中部部会を開催するというのは時宜に適っているのではないかと思います。この部会に合わせて今年度第 1 回目の評議会も開催されますし、今年度メネット事業の一環として企画された「障がい者アート展」について話し合う機会となる「中部メネット会 (メネットアワー)」も並行して持たれるからです。この中部部報は、印刷媒体で配布する前に、インターネットを介して読むことができるようにしますので、部会に備えた情報提供にもなるでしょう。

2. 中部部長一年を終えて

直前部長 荒川 文門 (名古屋南山クラブ)



6 月 22 日の西日本区大会の役員引き継ぎ式の場で平口部長に引き継ぎをし、一年が終わりました。2011 年より次期部長として色々ありましたので、実際には 2 年近く、長かったようで短くもあった年月でした。30 年ほど前の日本区時代の北西部長以来のことで戸惑うことばかり、西日本区自体の組織も変わり、部の働きももっと細かくなり、仕事がうんと増えていました。年寄りが出る幕ではないと思ったこともありましたが、ワイズ一年生のつもりで極力外に出て、皆さんと交流を深め、楽しさを味わい、広めたいと思いました。

公式訪問として参加させていただいた各クラブの温かいおもてなしを受けたこと、色々な部会に参加できたことなど、部長ならではの特権として十分享受、楽しい一年でした。

2012-2013 年度中部としては、西日本区大会ホストという大役を仰せつかり、部内の四日市クラブを初め名 5 クラブのメンバー、遠く金沢、津のクラブの皆様が各委員会活動をしてくださり、何とか成功裡に大会を終えることができました。ほんとうにありがとうございました。ただこの大会を夢見られていた成瀬理事が道半ばで急逝されたことは本当に残念なことでした。どこかで、あの大会風景を昔のパイプをくわえながら、にこにこされていることでしょう。そんな成瀬理事の姿を思い浮かべながら、この一年ご協力くださった皆様に厚く御礼申し上げます。私を支えてくださったホームクラブ (南山クラブ) の皆様にも改めて感謝いたします。本当にありがとうございました。

3. 中部書記として心がけたいこと



書記 北 肇夫（金沢犀川クラブ）

2011年3月、中部評議会で金沢犀川クラブが2013-2014年度中部部会をホストすることが正式決定し、2011年11月のクラブ役員会で平口・次々期中部部長をはじめキャビネットの陣容が内定した。2012年1月には中部部会準備委員会が立ち上げられたが、具体的な行動に入ったのは同年7月で、部会開催日や会場などの情報収集や検討資料作りに全員で取り組んだ。

また、2013年6月には金沢犀川クラブがチャーター20周年を迎えることから、負担を少なくするため記念式を6月第一例会の際に簡略に実施し、中部部会の参加者全員には、ささやかな記念品を贈ることとした。

2013-2014年度キックオフから早や1ヶ月が経過した。金沢犀川クラブの弱小クラブが中部キャビネットを担うには、メンバーの団結、さらに金沢クラブのご支援があつてはじめて成しえるものであり、日頃から交流・研鑽を深めている。

今年度の中部事業を円滑に遂行するため、部長の方針・動向・意見などを具体的に把握し、各事業主査や会長との連絡調整に努めたい。また、部長公式訪問に随行するなど、できるだけ外に出て各クラブとの交流を深め、各クラブの持ち味を体験し、交流による楽しさを味わいたい。

限られたこの1年、中部キャビネットの一員として「長所を活かして生き生きと」活動していきたいものである。

4. 中部予算（2013年7月～2014年6月）について



会計 川村 孝治（金沢犀川クラブ）

中部会計として 中部部長の活動方針のごとく長所を活かし、短所を補いあつて活動していきたいと思ひます。

今年度より中部部費がメンバー1人3,000円となり、中部9クラブのメンバー数122人（今年度半年報より）366,000円の予算になります。しかし、部長経費・部報発行・評議会等の支払後の残金は幾らも無いでしょう。では、どのくらい集めたら金銭的な苦勞をしなくて良いかというと、多ければ多いほど良いに決まっていますが、今度はメンバーが悲鳴を上げてしまいます。

中部各クラブでこれから行う諸事業に対して中部から補助金を出せるかどうか心もとない限りですが、少額でも補助金を出すと言う事に意味があるのではないかと思います。西日本区に頼るだけでなく、メンバーがあまり苦にならないようなファンド事業を中部独自に立ち上げて諸事業を支援して行くことも1案です。集まった金額次第では、中部独自のファンド事業を展開することによって、力強い中部が出来あがるのではないのでしょうか。

5. 2013-2014 年度中部監事を受けて

監事 長谷川 和宏(名古屋東海クラブ)



平口部長は、主題を「長所を活かし、生き生きと！」とし、そのために「円滑なコミュニケーションに支えられた事業の質的向上と会員増強」を求めスタートしました。お互いの長所を理解し合い、協力し合うことなくしては何も成しえないと。

クラブ存続の限界に近いクラブはじめ、多くの難題を抱えているのが中部の各クラブです。各事業主査、クラブ会長の皆さんには、事業活動に振り回されたり、単なる継承に追われたりすることなく、ここはひとつ自分たちのクラブの長所、持ち味をクラブメンバー皆でしっかりと見据え、これを活かす活動に転機を見出すよう、大い

に期待いたします。

平口部長の所属クラブ（金沢犀川クラブ）が中部キャビネットを担うというのも、今の中部を端的に現しています。まさに限られた時間や労力や資金を有効にし、一人一人の持てる力を十二分に発揮していただくことがすべてであります。

私の所属クラブ（名古屋東海クラブ）も、ここにきて事業の力点や活動の中身とメンバーの推移に不安定さが見え隠れしています。中部の他のクラブでも同様であろうと思いません。ピンチをチャンスに切り替える年度にしたいものです。

限られた1年ですが、監事の役目を確認し、今年度事業展開にしっかりと協力していきたいと思えます。

6. ユース支援を身近に—YMCA に集うボランティアの仲間たちとして—

Yサ・ユース事業主査 早川 直希（四日市クラブ）

(1) Yサ・ユース事業方針

- 1) YMCA サービス・ユースの目的意義を分かりやすく伝え、献金の早期達成を実現。献金目標 2,000円 /1人
- 2) YMCA 活動への支援と参加の具体化（ユース支援）。
- 3) 目的を明確にした、YY フォーラムの開催。
- 4) ユース OB・OG が引き続き YMCA と繋がりを保つための継続的活動。

(2) Yサ・ユース事業計画

- 1) 上半期での Yサ・ユース献金目標の達成を目指す。
- 2) ユース支援が身近になるようにサポート。
- 3) YMCA 活動への支援と参加。
- 4) YY フォーラムの開催支援。



7. 多様な取り組みのバックアップ



地域奉仕・環境事業主査 鈴木 一弘 (名古屋東海クラブ)

まずは、出雲文枝西日本区事業主任 (大阪なかのしまクラブ) の事業主題・計画と前年度中部各クラブの活動を紹介します。

- ・事業主任主題：互いに知って共に進もう！

- ・事業計画：CS 献金、TOF 献金、東日本大震災支援基金、ロールバックマラリア活動

- ・各クラブ地域奉仕事業例：ユニセフ・ハンド・イン・ハンド募金 (金沢)、障害児親子潮干狩り (名古屋)、高齢者施設での Hammond オルガンコンサート (名古屋プラザ)、愛知 S.O.アスリートのチャ

リティールラン参加支援 (名古屋グランパス)、児童養護施設支援 (津)

- ・各クラブ環境事業例：クリーンキャンペーン (金沢、金沢犀川)

あらためて中部各クラブの多様で熱心な取り組み=ワイズ・スピリットに敬意を表します。また、上記事業の支援のため、今年度もファンด์にご協力をお願いする次第です。

私は東海クラブに入会し約6年、2011-2012 ファンด์事業主査、2012-2013 クラブ会長の経験を経て、ようやくワイズ活動の何たるかが分かりかけてきた若輩者です。各クラブの諸事業がより活性化されるようにお手伝いを致しますので、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

8. 出席率 100 パーセントを達成しよう

EMC 事業主査 五島 八郎 (名古屋クラブ)

「強い義務感を持つ義務はすべての権利に伴う」

例会の出席はもちろん大切な義務です。毎月一度以上例会に出席すれば、例会の出席率は100%になります。中部の個人の出席率は、年間で平均60%以上あります。ところがクラブ単位でみると、100%達成がまれなのは何故でしょうか。第一例会、第二例会(役員会)、部内外の他クラブへの出席などによるメイクアップにより、100%達成は難しくない筈です。第一例会欠席者に第二例会前、連絡して出席を促すとか、全員出席ならば次月の第一例会は特別食にするなど工夫して、出席率を向上させてはいかがでしょうか。

30 数年前、名古屋クラブが 37 ヶ月余連続で 100%達成という時がありました。初めて100%になった時の会長は第16代西日本区理事の故成瀬晃三氏でした。第一例会の欠席者には電話(当時は携帯電話など携帯している人はいませんでした)をしたり、体調の不調な方には会員が家まで迎えに行ったりしました。「体調不調になったらクラブを退会しないとダメかな?」のような話も聞こえてきました。その時在籍の会員のうち今でも10人が元気に例会に出てみえます。今年度の名古屋クラブは30数年前の出席状況とよく似ています。この状況は4ヶ月ほど続くかもしれません。いや心の中ではさらに長く続けたいと思っています。

中部の会員の皆様、出席率100%を達成しましょう。クラブ出席率100%を目標に掲げましょう。

9. ファンド事業に真剣に取り組んで国際協会の一員であることを認識

ファンド事業主査 数沢 輝夫 (金沢クラブ)

長壽和子ファンド事業主任によるファンド事業主題に基づき、次の事業方針と事業と目標を立てました。



(1) 事業方針

- 1) 国際協会の一員であることを意識し、BF の重要性を理解していただき BF 献金ゼロのクラブをなくす。
- 2) ファンドへの認識を新たにし、ファンドの意義を理解することで自己意識をたかめ、決められた目標額を達成する。

(2) 事業と目標

BF (Brotherhood Fund) 事業は、全ワイズメンによって積み立てられた基金で、国際役員や BF 代表の公式旅行の費用にあてるために、「使用済み郵便切手を集めて換金する方法」と「現金による方法」があります。

※BF 資金 一人当たり 1,400 円 (使用済切手、現金合算)

EF (Endowment Fund) 事業は、ワイズダム発展のために会員やクラブなどからの寄付、遺贈、献金などによって集められた基金です

※国際信託基金 一口 \$ 120、オナロール一口 \$ 1,000、年間目標 \$ 3,000。

JWF (Japan West Y's Men's Fund) 事業はクラブの記念行事、個人の冠婚葬祭などを記念しての献金を受け付けた基金です。

※西日本区ワイズ基金 一口 5,000 円、献金随時、年間目標 400,000 円。

10. つながりを深めよう

交流事業主査 森本 征夫 (名古屋南山クラブ)

(1) 全てのクラブで IBC・DBC 締結を目指す

現在 IBC 未締結クラブが 3 クラブ、DBC 未締結クラブが 4 クラブあります。部外・国外で締結を希望しているクラブを紹介し、締結の足掛りになるよう促進を図っていきます。

(2) 合同例会をより多く実施する

積極的に合同例会を企画し、各クラブ間の会員交流を推進してまいります (MC・LT の機会を提供)。

(3) YEPP・STEP 事業に積極的に参加を促す

昨年は中部から STEP 事業として、四日市クラブ推薦の大西君がケニア・タンザニアで研修を行い大きな成果をあげました。若いスタッフに積極的に参加を促し、ワイズメンズクラブに連なるユースの育成を図っていきます。

(4) 部会や区大会への積極的な参加を呼びかける

部会・部評議会、東・西日本区大会への参加を促し、また、2014 年にインドで開催される国際大会への積極的参加を目指します。

交流事業の中で主たる事業は IBC・DBC だと思います。ただし、締結しても継続していかなければ意味がありません。相互にクラブを訪問し、交流を深めましょう。

最後に、部長キャビネットの一員として微力ながら力を注ぎますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。



1 1. 内外の情報中継点となりワイズの魅力伝えたい



中部広報事業主査 大島 孝三郎 (名古屋プラザクラブ)

広報事業主査の立場は部長と区事業主任からの連絡・指導を受け、各クラブ会長へと伝達する流れの中にあり、逆に各クラブ会長からの報告を受け部長と事業主任へ情報を上げることもあります。その手段は主にメールによることになるでしょう。主任からすでにフェイスブック(FB)活用促進の方針が出ていますが、今後の検討課題と受け取っています。主査の仕事は、組織内外の情報を受発信して各クラブ間で情報の共有を図り、ワイズ活動の価値(喜び・楽しさ)を高めることと認識しています。加藤信一広報事業主任(京都トップスクラブ)の事業計画①に、クラブ活動等を地域メディア・マスコミ等に取り上げてもらい、その実績を部長・主任に報告する、ということが記されていますので、各クラブ会長から主査の私まで情報提供をお願いします。また同事業計画②には、「より多くのワイズにブリテンを見てもらえるように工夫する」とありますので、その前段階として各クラブにメンバー用のメーリングリストが整備されているかを確認し、活用を要請します。広報主査から会長(またはメール委員)に情報を提供したときにメンバーに確実に転送していただきますようお願いいたします。広報事業主任より、第17回西日本区大会の表彰基準に(1)プレスリリース優秀賞と(2)ホームページ及びFB優秀賞が掲げられましたので、特に(1)については毎月有無を問い合わせさせていただきます。(2)については私自身、FBはまだ使えませんが(1)と同様又は随時活用状況と便宜性をお聞かせいただくこととします。

1 2. 「障がい者アート展」を中心に



メネット事業主査 澤瀬 紀子 (金沢犀川クラブ)

今年度、メネット事業主査がなかなか内定せず困っておられる現部長から「実務については会長や部長が代行するので、お名前だけでも」と頼まれて、お引き受けすることになりました。とはいえ、私にできることは「長所を活かして生き生きと」協力したいと存じます。

当面は、2013年8月31日に金沢都ホテルで開催される第17回中部部会が成功しますよう、メネットならではの“おもてなしの心”で、託された仕事に取り組みます。その一つは、当日同ホテル5F「兼六の間」(当初予定の「古都路」から変更)で開催される中部メネット会(メネットアワー)です。この会では「障がい者アート展」が話題の中心になります。また、5Fロビーで小規模の「障がい者アート展」と、障がい福祉サービス事業所「ひろびろ作業所」で作られたクッキーなどの販売をする予定です。なお、同ホテル5F「加賀の間」で行う懇親会では参加者全員が輪になって踊る盆踊りがフィナーレを飾る手筈になっており、その先導役を金沢クラブ・金沢犀川クラブのメネットたちがいたします。

本格的な「障がい者アート展」は、名古屋クラブの谷川修ワイズとメネット会が中心になって企画し、2014年4月22日(火)～27日(日)、名古屋市民ギャラリー栄にて開催する予定です。詳細については、8月31日開催の中部評議会ならびに中部メネット会を経てからご案内申し上げます。

1 3. “ワイズ銀河鉄道” によろこそ！



金沢クラブ会長 幸正 一誠

今年度は夜空にきらめく星達に導かれ、宮沢賢治の『銀河鉄道』に習い“ワイズ銀河鉄道の旅”を提案いたします。車両の右サイドには「多くのワイズと出会い、多くのワイズと握手を交わそう」のトラベルコピー(会長主題)を、また、左サイドには「楽しもうワイズライフ」(副題)のキャッチフレーズを掲げています。

発車直後の8月には中部部会が“金沢都H星”にて開催されますので、この機を逃さず多くのワイズと出会い、握手を交わして交流を楽しんでください。今年度も、楽しそうな星、美味しそうな星を見つけて臨時停車し、その星を皆さんと共に賞味しましょう。急停車する事もありますので、急ブレーキにはくれぐれもご注意願います。ワイズメンズクラブの楽しさは「交流」と「親睦」にあります。特に新メンバーのワイズの方々や、前年度余り参加できなかったメンバーの方々の参加を望みます。

この銀河鉄道を牽引する機関車は、乗車人数が増えれば増えるほど馬力が出る特製機関車なので、多くの方々をお誘いください。この銀河鉄道の中には廃線になる線路も出てきました。我が“金沢ワイズ銀河鉄道”はいかなることがあっても廃線とする訳には行きません。また、安易な考えも望みません。“金沢ワイズ銀河鉄道”らしい「ワイワイ・ガヤガヤと楽しい～」をパワフルモットーとし、総力を持って今期を乗り越えましょう。

来年6月到着予定の“ニューグランド星”にて次期コンダクター(会長)に引渡す乗務日誌の乗員数欄には15名と記す事ができますように！！ **汽笛一誠 出発進行！！**

1 4. 出合いふれあい響きあい、前へ進もう



名古屋ワイズメンズクラブ会長 川口 恵

名古屋クラブの当期は、出合いふれあいを大切にし、響き合って前へ進んで行きたい。クラブ内外の素敵な人との出会いを通して、ワイズに入って、ワイズを続けていてよかったと思える1年となるように心がけます。それを通して次の活動へも積極的に取り組めることでしよう。

具体的には、まず例会では卓話を充実させたい。自分で経験できることは限りがありますので、卓話を通して感動し、思い切り笑い、見聞を広め、新しいことに興味をもって挑戦する機会を得るとともに、卓話者への信頼や親近感が深まればよいと思います。8月は小谷メネットの「山歩きの楽しさ」、9月はSTEPに行かれた大西コメット(四日市クラブ)の「ケニア・タンザニア滞在」の話です。

クラブの各メンバーがそれぞれクラブ内外の活動に大いに興味を持って積極的に参加していただけるように努めます。IBCやDBCとの交流は、今年も会うのが楽しみなソナン、紀の川、熱海グローリー各クラブの素敵なメンバーと親しい交流をしたい。名古屋YMCAとも中野連絡主事や中村総主事を通して、8月の日韓交流をはじめとして楽しみながら良き連携をしていけたらいいな。

先輩ワイズメンの築いた良き伝統を大切に、1年間活動していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

15. 何にでも Challenge



名古屋東海クラブ会長 山村 喜久

今回で二度目の会長ですが、私に任せてくださいなんて言う余裕は無く、皆様の協力が不可欠です。一年間宜しく願いいたします。

今年の会長標語は「何にでも Challenge」としました。大人になるにつれ、新しいもの、刺激的なものは避けがちになってしまいますが、マンネリ化した頭では時代に取り残されてしまいます。古き良き物は大切にしつつ、新しいものにもどんどん Challenge していきましょう。まず私から・・・。

今年、韓国クラブとの交流を予定しています。国内クラブとの交流は盛んに行われていますが、国外となると一部の交流はあるものの、皆でとなるとなかなか難しくなります。でも、そこは Challenge。ぜひ成功させたいと思っています。

もちろん、YMCA のプログラム、地域奉仕のプログラムにも積極的に参加し支援していきたい。そのためにも YMCA のスタッフやユース・リーダーを例会に招き、協働の意識をお互いに共有していきます。

もう一つ、力を入れたいのが、根の上キャンプ場の活用です。ここ数年、私は根の上キャンプ場を皆に気軽に使っていただけるよう、整備に力を入れてきました。鬱蒼とし、湿っぽく感じられた場所が皆さまの協力のおかげで随分明るくなり、使い勝手も良くなりました。さらに細かなところまで整備し、皆様に気軽に使っていただけるキャンプ場に作り上げたいと思っています。

16. みんなで創る例会



名古屋南山クラブ会長 小林 滋記

今期の平口中部部長の主題は「長所を活かして生き生きと!」、メンバー、クラブの長所を大いに活かしたクラブ運営を方針とされています。では、南山クラブの長所・アピールポイントはというと、やはりまずフェロウシップですかね。30年以上、様々な招待プログラムを提供しながら、現在はクラブメンバーから畑を貸していただき、南山ワイズ農園として活用。ここで畝作りから苗植え、雑草取

りなどを行い、秋に出来たお芋で「フェロウシップいも掘り」。今年は中高生が苗の植え付けのお手伝いをしてくれました。少しずつですが、新しい仲間を巻き込みながら良い方向に変わっています。つぎはユースとのお付き合い。小さな会館ですのでリーダーとの距離も近く、バザーの準備等で顔を合わせ、一緒に新年会やバーベキュー例会をしています。イモ掘りのお手伝い、こども達と遊んだり、ハンディのある子の面倒を見てくれたりと協力してくれて大助かり。最近ではリーダーからの要望でロープワーク講習会をクラブのメンバーを講師に開催したり、リーダーの中に落研の学生がいて落語会を例会で行なったりと、交流も盛んになっています。ただリーダーは毎年入れ替わりがあるので、絶えずワイズのことを話し、先輩リーダーから伝えられると良いですね。そういえばリーダーからボーリングの挑戦状が来ていました。なんとかせねば! 交流事業についてはまたの機会に。1年間、クラブメンバーをはじめ他クラブの皆様もご協力宜しく願いいたします。

17. 外に上に向かってエクステンション！

四日市ワイズメンズクラブ会長 竹中 浩



家庭の都合で忙しく、ここ3、4年はワイズの活動を休みながら在籍だけはしているような状態でしたので、今年度の四日市クラブ会長をというお話には戸惑いました。四日市クラブの方々には西日本区とか中部で活躍され、実業界の中心におられますので、私のような世の中に疎い者ができるのかと思いましたが、キャビネットの方々の方が全面的にバックアップするからというので、今に至っております。

学生時代、Tさんが近所で英語塾を始められ、私がお手伝いをする事となりました。私の父母とTさんの父母が知人同士で、英語が好きだった私に手伝いなさいという“白羽の矢”が立ったからでした。その学生時代にアメリカのYMCAの存在を知りました。その後Tさんが三重県に初めて四日市YMCA（三重YMCAの前身）を設立され、そこでも英語を教えることになりました。それから暫くして四日市クラブがチャーターされたのです。

このように、私にとってYMCAとワイズメンズクラブは一体感があります。また、YMCAという存在に私は物凄いノスタルジアを感じます。そこには、若者の笑顔があり、老いも若きも何でも討論し、歌い、助け合い、何かを追求する姿があります。

会長主題はと聞かれ、私は「エクステンション、エクステンション、エクステンション」と言っておりましたら、国際会長も同様に言っておられるのでびっくりしました。私は内にこもった意識や行動よりも、もっと外に上に意識や行動を持って行こうと思っています。

18. 5年後に備えて今、何を

名古屋プラザクラブ会長 島崎 正剛



まずメンバーの増員。2名を確保して10名にしたい。講師例会等に工夫をし、関心を持ってもらう魅力的な例会を企画し、クラブメンバーのマンパワーを最大限活用します。メンバーのまわりの人への声掛けと誘いが大切です。

昨年度は西日本区大会への準備で多くの時間がとられ、対外的なボランティア活動等が減りました。以前はインフルエンザ脳症への啓蒙活動やYMCAに通うLDの子供たちへの参加型支援をおこなっていたが、インフルエンザは概ね啓蒙の役割をはたし、LDの支援も子供たちの日程の都合等でなくなってしまいました。唯一、オルガンを持参して年配諸氏の慰問のみになっていました。私たちにできる対外的なボランティアの再発見が課題です。

クラブメンバーの東北震災地への支援をかねた旅行の経験談を聞く機会をつくり、旅行を企画してみたい。1000年に1度の震災と報道では目にしているも、現地に立ってその惨状を感じることがとても重要です。決して他人事ではなく、いつおきてもおかしくない確率の地に生活する者として、学び備えることが神戸・新潟・北海道・東北に学ぶ責任だと思います。その過去に学び日常に反映させた成果は、報道でみた子供たちの犠牲者の差異となって表れています。悲しみを悲しみだけにしないためにも、残された者へのその責任は重いのです。

以上のことを実現できるように、楽しみながら努めていきたいと思っています。

19. 若い世代にワイズを広めよう



名古屋グランパスクラブ会長 坂野 清治

名古屋グランパスクラブも今年8月でまる21年を迎え22年目に突入しようとしています。発足当時、最年少クラブと言われたメンバーも高齢化と減少傾向が進んでいる現状があります。

名古屋YMCAの行事も年々増え続け、最近ではサポートするだけで手一杯になり余裕が無くなりつつあり、クラブの現状に逆行している感があります。

今年は総主事も代わり名古屋YMCAも大きく変革をしていく年となる中、現状のメンバー数のままでは、近い将来サポートすらできなくなる事が懸念されます。

そこで、3年計画でクラブメンバーの増員を再度の課題として掲げ、3年間で30名以上のメンバー数にする目標で、若い世代にもワイズを知って貰い、入会していただこうと思います。

あわせて、阿部一雄直前会長の主導で東北被災地を訪問し、仙台YMCAとの交流を通して東北支援物品販売を各所で行い、これがグランパスクラブの軸となるファンド事業になるよう活動していきたいと思います。

20. ワイズの輪を広げよう！



会長 千賀 直道 (津クラブ)

津クラブは少人数のため、4~5年のうちに1回は会長をしなければなりません。メンバー数の多いクラブであれば生涯に1度という事もあるでしょう。1992年10月5日にチャーターし、その時はメンバーも20数名いましたが、その後20年余りで5名に減少してしまいました。減り始めると早いなあ・・・と実感しております。チャーターメンバーもスポンサークラブ四日市に所属していた薦田正男ワイズと私だけになってしまいました。

今後の事を考えると、このクラブに課された問題はEMCの充実以外にありません。ワイズメンズ、YMCAへの理解者、それらの関係者、地域の人々等にご理解いただき、入会して共に活動して下さる方をいかに獲得するかについて、メンバー間で考え実行していきたいと思います。

また事業の内容としましては、従来から津市内にある児童養護施設の児童との交流会、身体障がい者施設での餅つき大会の実施に加え、今年は亀山市にある障がい者デイサービスセンターでクリスマス祝会を実施したいと考えております。

この一年間、皆様のご指導・ご協力、どうぞ宜しくお願い致します。

2 1. 今期も活力に満ちたワイズライフを！

金沢犀川クラブ会長 澤瀬 諭



前年度会長職をさせていただき「小さいながらもきらりと輝る」クラブを目指し一年間活動を続けてきました。会員 6 名の小さなクラブですが、ワイズメンズクラブならではの親睦と奉仕を楽しみながら、それなりの成果をあげられたのではないかと思います。

今年度も引き続き会長職をさせていただくことになり、また、当クラブから中部部長を輩出し、当面はホスト役として、来る 8 月 31 日に金沢都ホテルで開催される中部部会の成功に向け、部長主題の「長所を生かして生き生きと！」を胸にきざみ、メンバー一丸となり全力を傾注しているところです。

2013 - 2014 年度も前年度と同じく「活力に満ちたワイズライフを！」を主題に掲げ、部会を契機にメネットの例会参加をさらに促し、前年度達成できなかった会員増につなげていきたいと考えております。

中部部長を支え、中部部会を成功裏に終えることは当面の大きな課題ですが、日常的なクラブ活動をきちんとこなしていくことも大切です。月末ないし月初めのブリテン発行、ホームページやクラブ紹介リーフレットの更新は、報告に値する具体的な活動なしにはできかねます。また、第一例会の案内チラシ、第二例会(役員会)の議案書・議事録などを毎回きちんと作成していく作業は、クラブ活動を確実に展開していくうえで重要です。

今後とも皆様のご支援をよろしく申し上げます。

2 2. 今年もご覧ください。ご意見ください。

中部ホームページ委員長 荒川 恭次(名古屋グランパスクラブ)



中部 HP は発足以来 10 年目を迎えております。トップページのカウンターが 6 万アクセスを超えていることから、経年の長さが感じられます。延べ 6 万人の方がご覧になった感想はいかがかと知りたいところです。

TOPICS 欄は、サーバー容量の関係からリンク先こそ 2008 年以前は削除しましたが、表示は発足当時から手をいれておりませんので、さっとパソコン画面をスクロールすれば、この 10 年間の中部の出来事が大まかに感じとることができます。ここはぜひ活用していただきたいスペースです。クラブ活動の内から外への発信はここからです。

中部ホームページ委員会は、他部には無いホームページの運営管理に特化した組織です。そして現在は 2 名の管理者によって維持管理されています。だから 10 年間途切れることなく続けてこられたのかもしれませんが、しかし、そろそろ平均年齢を下げる(世代交代ではない)時期に来ているのも事実です。ここ数年ホームページの新たなデザイン考えていますが、なかなか実現できません。コストをかけずパッとリニューアルしたいものです。今年度はそのための協力者(管理者)を大募集します。

今年も各クラブのブリテンの毎月掲載を中心にホームページアップします。ブリテンとは別にクラブ内活動をタイムリーご紹介ください。コメントと写真データ送っていただければ即アップいたします。新入会員募集のツールとしてご活用ください。

23. 2013-2014 年度行事予定

(1) 中部各クラブの例会日・例会会場

金沢	第一例会	:	第3木曜日	(金沢ニューグランドホテル)
	第二例会	:	毎月1日	(金沢ニューグランドホテル)
名古屋	第一例会	:	第2火曜日	(名古屋 YMCA)
	第二例会	:	第3火曜日	(名古屋 YMCA)
名古屋東海	第一例会	:	第2木曜日	(ラ・スース ANN)
	第二例会	:	第3木曜日	(名古屋 YMCA)
名古屋南山	第一例会	:	第2木曜日	(南山 YMCA)
	第二例会	:	第3木曜日	(南山 YMCA)
四日市	第一例会	:	第3木曜日	(四日市市文化会館)
	第二例会	:	第4金曜日	(四日市市文化会館)
名古屋プラザ	第一例会	:	第2木曜日	(名古屋 YMCA)
	第二例会	:	第4木曜日	(名古屋 YMCA)
名古屋グランパス	第一例会	:	第2火曜日	(名古屋 YMCA)
	第二例会	:	第4火曜日	(名古屋 YMCA)
津	第一例会	:	第2木曜日	(アスト津)
	第二例会	:	第4土曜日	(アスト津)
金沢犀川	第一例会	:	第2木曜日	(金沢白鳥路ホテル)
	第二例会	:	第4木曜日	(金沢 YMCA)

(2) 中部各 YMCA とワイズメンズクラブとの年間行事予定

【名古屋 YMCA の年間行事予定】

- ・南山なつまつり : 7月
- ・日和田キャンプ場エンジョイワーク : 7月
- ・名古屋 YMCA 主催 名古屋市内中学生バスケットボール大会 : 8月4日(日)~13日(火)
- ・日韓ユースセミナー : 8月15日(木)~8月20日(火)
- ・Y・Y フォーラム : 3月21日(金・祝)
- ・秋の根の上まつり (ワイズと共催) : 10月14日(月・祝)
- ・南山バザー・ピースフルサンデー : 10月27日(日)
- ・第20回名古屋 YMCA チャリティラン : 11月2日(土)
- ・クリスマスキャロル in JR セントラルタワーズ : 12月23日(月・祝)
- ・第37回平和の使者クリスマスカードコンテスト(展示) : 12月19日(木)~25日(水)
- ・春の根の上まつり : 4月29日(火・祝)
- ・名古屋 YMCA 会員の集い : 5月
- ・国際協力街頭募金 : 6月

【三重 YMCA の年間行事予定】

- ・夏のプログラム (体操・キャンプ)
- ・講演会と音楽会
- ・チャリティウォーク : 11月
- ・合同クリスマス : 12月
- ・国際協力街頭募金 : 12月

- ・冬のプログラム（スキーキャンプ）
- ・YMCA 幼稚園卒園式 : 3月
- ・YMCA 幼稚園入園式 : 4月
- ・YMCA 幼稚園まつり（バザー） : 5月

【金沢 YMCA の年間行事予定】

- ・わいわい農園体験 : 7月～11月
- ・みどりっ子キャンプ : 8月
- ・コンサート : 11月
- ・親子イモ煮会（金沢クラブ メネット会主催） : 11月
- ・秋のクリーンキャンペーン : 11月
- ・ながまちふれあいフェスティバル : 11月
- ・歳末ユニセフ街頭募金 : 12月
- ・ゆきん子キャンプ : 2月
- ・たけのこ掘り体験 : 4月
- ・春のクリーンキャンプ : 5月
- ・金沢 YMCA 定期会員総会 : 5月

（3）ワイズメンズクラブ西日本区・中部の年間行事予定

- ・第1回西日本区役員会 ホテルクライトン新大阪 : 7月6日(土)～7日(日)
- ・ユースコンボケーションアジア大会 フィリピン : 7月31日(水)～8月4日(日)
- ・第25回アジア大会 フィリピン(マニラ) : 8月2日(金)～4日(日)
- ・第17回中部部会、評議会、メネット会(メネットアワー) : 8月31日(土)
- ・障がい者アート展 金沢都ホテル : 8月31日(土)
- ・京都部部会 ホテルグランピア京都 : 9月1日(日)
- ・六甲部部会 神戸クリスタルホール : 9月7日(土)
- ・阪和部部会 大阪府紀泉わいわい村 : 9月14日(土)
- ・中西部部会 茨木スカイレストラン : 9月15日(日)
- ・西中国部部会 広島 YMCA : 9月28日(土)
- ・九州部部会 菊南温泉ユウベルホテル : 9月29日(日)
- ・びわこ部部会 琵琶湖船上「観光船ビアンカ」 : 10月5日(土)
- ・次期役員研修会 チサンホテル新大阪 : 10月26日(土)～27日(日)
- ・瀬戸山陰部部会 男鹿(たんが)島の中村荘 : 10月12(土)～13日(日)
- ・第2回西日本区役員会 ホテルクライトン新大阪 : 11月16日(土)～17日(土)
- ・障がい者アート展 名古屋市民ギャラリー栄 : 4月22日(火)～27日(日)
- ・中部評議会 名古屋 YMCA : 3月21日(金・祝)
- ・中部 Y・Y フォーラム 名古屋 YMCA : 3月21日(金・祝)
- ・中部 EMC シンポジウム : 4月13日(日)
- ・次期会長・主査研修会 チサンホテル新大阪 : 3月8日(土)～9日(日)
- ・第3回西日本区役員会 ホテルクライトン新大阪 : 4月19日(土)～20日(日)
- ・第17回西日本区大会 シンフォニアいわくに : 6月14日(土)～15日(日)

*以上の行事予定は変更される場合もありますので、ご注意願います。

24. 第17回中部部会

日 時：2013年8月31日(土)
11時30分～17時30分

会 場：金沢都ホテル(JR金沢駅東口前)
〒920-0852 金沢市此花町6-10

TEL：076-261-2111 FAX：076-261-2113

会 費：部会 10,000円、評議会(弁当代) 1,000円、メネット会(弁当代) 1,000円

駐車場：金沢都ホテルの駐車場は、宿泊の場合1泊(13:00～正午)1,000円、宴会場利用の場合3時間まで無料(30分超過ごとに150円)で利用できますが、台数に限りがあるため、満車時は近隣駐車場を紹介しています。

会場案内：JR金沢駅前から金沢都ホテルまでは、地下通路をご利用願います。要所に係員が幟を持って立っており、部会の会場となるセミナーホール(B2F)まで案内いたしますから、セミナーホール前で受付をすべて済ませてください。

【中部評議会】

会場：「白山の間」(5F、当初予定のセミナーホールから変更)

受付：セミナーホールにて11時開始、開催：11時30分～12時30分

【中部メネット会(メネットアワー)】

会場：「兼六の間」(5F、当初予定の「古都路の間」から変更)

受付：セミナーホールにて11時開始、開催：11時30分～12時30分

*話題の中心は「障がい者アート展」。

*中部「障がい者アート展」の一環として金沢都ホテル5Fロビーにてパネル展示。

【中部部会】

会場：セミナーホール(B2F)、受付：12時30分開始。

第一部：式典 13時～13時50分

*オープニングにフルートとチェロによる三重奏。

- ・フルート1：村野 訓之(むらの のりゆき) 白山市在住
- ・フルート2：竹中 丈晴(たけなか たけはる) 金沢市在住
- ・チェロ：中野 憲一(なかの けんいち) 金沢市在住

村野氏は金沢犀川ワイズメンズクラブ会員の竹中氏が師事するフルート演奏家であり、中野氏は竹中氏の友人です。演奏曲はヘンデル作曲「サラバンド」。

*西日本区理事の挨拶後、国際ブースター賞(個人部門)授与式。

第二部：記念講演 14時～15時(一般公開、無料)

講師 二代目 森乃福郎 師匠(上方落語家)

演題 「頭のストレッチ」(講話と落語1席)

講師プロフィール：もりの ふくろう。1948年京都生まれの京都市育ち。本名は

THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

第17回 中部部会
2013

いらっし!
るまっし!
よるまっし!

長所を活かして生き生きと!

2013年8月31日(土)
会場 金沢都ホテル

ホストクラブ The Y's Men's Club of Kanazawa Saigawa
金沢犀川ワイズメンズクラブ
(創立20周年記念日 2013年8月12日)

協賛クラブ 金沢ワイズメンズクラブ

山田信悟。同志社大学卒業と同時に初代森乃福郎に師事し、笑福亭福三の名でデビュー、2000年に先代の名跡を襲名する。“古典落語と新作落語をバランスよく”を信条に、一門独自のネタを継承する一方、作家と共同で新作落語を創作したり、埋もれた古典の発掘に力を注いだり。多趣味と豊富な話題を活かしながら全国のYMCA、ワイズメンズクラブなどでの講演活動も好評。

* 記念写真の撮影：記念講演会場で講演終了後にその場で。

第三部：懇親会 会場：加賀の間（5F）、受付：15時20分開始

開催：15時40分～17時30分

* アトラクション：ギターの弾き語り、シャンソン歌手による歌（ピアノ伴奏あり）。

- ギター弾き語り：日置 深夫（へき ふかお）。定年後始めたアコースティックギターに嵌まり、弾き語りです。竹中ワイズの友人です。
- シャンソン：友季（YUKI）。本名は新木幸子（あらき さちこ）。1997年、青山保氏に師事し、シャンソンを始める。翌3月金沢ボーカリストクラブに所属し、その年6月アートホールで開催の金沢パリ祭でデビュー。金沢市民芸術村、県立音楽堂、しいの木迎賓館、アートホール、ライブハウスなどでコンサートやライブを行なっている。特に大野町もろみ蔵では11年、金沢みか月コンサートでは3年継続。CDに「10年目のありがとう」、「積丹」がある。

* フィナーレに参加者全員で輪になって盆踊りをいたします。

【物品販売】

会場：出店用に5Fロビーに長机5脚を準備します。訪問販売もどうぞ。

2013 - 2014 中部部報 第1号

発行日：2013年8月23日

編集・発行：ワイズメンズクラブ国際協会西日本区中部

2013-2014 事務局 金沢犀川クラブ

〒924-0072 石川県白山市千代野西6-7-3

澤瀬 諭 気付

TEL/FAX: 076-276-7822 E-mail: nrj35245@nifty.com

中部部長 平口 哲夫 TEL: 076-264-0220 E-mail: koshomachiruka@yahoo.co.jp

中部書記 北 肇夫 TEL/FAX: 076-245-2386 E-mail: tkita27@dune.ocn.ne.jp

印刷：(株)谷印刷 〒921-8022 金沢市中村町28-14

TEL: 076-242-7267 FAX: 076-247-5181 Email: pikapika@lilac.ocn.ne.jp
